2．キャッシュ・フロー計算書関係

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	3,652,171千円
定期預金	△　100,000千円
資金期末残高	3,552,171千円

⑵　重要な非資金取引

寄附受による資産の増加	101,651千円
ファイナンス・リース資産の増加	44,887千円

3．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付政府保証債の平成26年３月末利回りを参考に0.640％で計算しています。

4．減損会計関係

減損の兆候が認められた固定資産（翌事業年度以降の特定の日以後使用しないと決定した固定資産）

該当事項はありません。

5．重要な債務負担行為

当事業年度に契約を締結し、翌期に支払いが発生する重要なものは以下のとおりです。

（単位：千円）

契　約　内　容	契　約　先	契約金額	翌期支払額
埼玉大学（大久保）学生支援センター改修その他工事	ノムラ建工㈱	292,950	195,720
埼玉大学（大久保）ライフライン再生機械設備工事	㈱泉屋工務店	199,500	199,500
埼玉大学大久保宿舎等改修工事	㈱サンエイ	100,054	63,855

6．重要な後発事象

該当事項はありません。

7．金融商品に関する注記

⑴　金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、国債、地方債及び政府保証債等の有価証券、預貯金、金銭信託に限定しています。

当事業年度の資金運用にあたっては、定期預金、有価証券（譲渡性預金）にて行っています。

⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時　価（＊１）	差　額（＊１）
⑴　現金及び預金	3,652,171	3,652,171	—
⑵　未払金	(2,443,115)	(2,443,115)	—

（＊１）負債に計上されているものについては、（　）で示しています。

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴　現金及び預金、⑵　未払金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

8．資産除去債務に関する事項

⑴　資産除去債務の内容及び算定方法

石綿障害予防規則等に基づくアスベスト除去に係る支出額を見積もっています。

なお、耐用年数は到来済みです。

⑵　資産除去債務の総額の期中における増減内容

期中における増減額はありません。

当事業年度期末における残高は4,760千円です。

9．土地の譲渡に伴う資本金の減少

⑴　譲渡した土地の帳簿価額及びその概要

帳簿価額：247,600千円　面積：896.33㎡　所在地：さいたま市浦和区常盤

⑵　譲渡理由

宿泊施設（ときわ荘）について、用途廃止及び不用とする意思決定がなされたため

⑶　譲渡収入の額

353,535千円

⑷　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付額の算定に当たり譲渡収入より控除した費用の額

5,624千円

⑸　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付額

173,955千円

⑹　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付が行われた年月日

平成26年３月31日

⑺　減資額

123,800千円

10．その他

貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び国立大学法人等業務実施コスト計算書の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資　産　の　種　類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘　要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建　物	17,916,586	1,059,674	168,711	18,807,549	7,869,938	720,085	—	—	—	10,937,610	
	構　築　物	1,168,750	186,773	1,656	1,353,867	897,719	29,570	—	—	—	456,147	